

秦野市都市農業振興計画の進行状況について

1 目的

令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする、秦野市都市農業振興計画（以下、「計画」という。）の進行状況を把握することにより課題等を明らかにし、今後の計画推進に役立てる。

2 時点

令和6年3月31日

3 把握方法

(1) 「重点施策・事業」について

計画では、計画期間中に特に重点的に実施する取組みとして、13の重点施策・事業を掲げている。

また、この重点施策・事業の進行状況を把握するため、各重点施策・事業に関連の強い事項を指標とし、令和7年度までに達成を目指す全13指標に対して、最終目標値を設定している。

今回は、令和5年度末時点で概ね到達していることが望ましい目標と比較し、図表1のとおりAからDの4区分で進行状況を評価した。

なお、この年度ごとの概ね到達していることが望ましい目標は、計画中の「目標設定一覧（計画P.77）」の「目標設定の考え方」で示している毎年の増加数等に基づくものとしている。ただし、毎年の増加数等を示していない一部の指標については、最終目標値に必要な数値を計画期間でほぼ均等に配分した数値としている。

●図表1 指標の評価区分（令和5年度末の概ねの目標と比較）

区分		内容
A	目標到達	目標に到達している
B	概ね順調	目標の75%以上100%未満
C	やや遅れている	目標の50%以上75%未満
D	遅れている	目標の50%未満の数値

(2) 各事業について

計画では、基本目標（Ⅰ～Ⅳ）に掲げる4つの分野において、計画期間中に実施する事業、全101事業（重複掲載事業は1事業としてカウント）に取り組むこととしている。各事業の取組状況について、「検討」、「着手」、「完了」及び「継続」の4区分に分類し把握する。

4 進行状況（令和6年3月31日時点）

(1) 「重点施策・事業」について【資料1-2】

全13指標のうち、7指標(53.8%)がA評価(目標到達)、5指標(38.5%)がB評価(概ね順調)、1指標(7.7%)がC評価(やや遅れている)であり、D評価(遅れている)はなかった。

ア 概況

「重点施策・事業」の全13指標の評価は図表2-1のとおりであり、A評価（目標到達）が7指標（53.8%）、B評価（概ね順調）が5指標（38.5%）、C評価（やや遅れている）が1指標（7.7%）、D評価（遅れている）が0指標（0%）であった。（図表2-2 参照）

目標に到達しているA評価の指標については引き続き計画的に進めていき、やや目標に至らなかったB評価についても大きな課題はないため目標値を意識しながら進めていく。

また、C評価となった指標については、原因等を捉え可能な限りの改善を図り、目標値達成に向けて進めていく。

●図表 2-1 重点施策・事業（指標）の実績と評価

No.	重点施策・事業名	指標名(定義等)	策定時 (R2.3)	最終目標値 (R8.3)	年度ごとの概 ねの目標	実績	1年目 (R4.3)	2年目 (R5.3)	3年目 (R6.3) 【中間年】	4年目 (R7.3)	最終年 (R8.3)
基本目標Ⅰ：農業経営の安定化と担い手の育成・確保											
1	認定農業者・地域の 中心経営体の確保	人・農地プランの掲載者数	95人 (R元年)	113人	R3:101人 R4:104人 R5:107人 R6:110人 R7:113人	実績	108人	109人	115人		
						区分	A	A	A	-	-
2	農業経営の合理化の促進	認定農業者の経営改善計画の 達成率	80% (R元年)	80%	R3:80% R4:80% R5:80% R6:80% R7:80%	実績	69%	83%	74%		
						区分	B	A	A	-	-
3	新たな担い手の育成・確保	新規就農者数	84人 (R元年)	114人	R3:94人 R4:99人 R5:104人 R6:109人 R7:114人	実績	99人	103人	113人		
						区分	A	A	A	-	-
4	環境整備	鳥獣被害対策重点取組地域数	-	8地域	R3:3地域 R4:4地域 R5:5地域 R6:6地域 R7:8地域	実績	6地域	9地域	10地域		
						区分	A	A	A	-	-
基本目標Ⅱ：農地の保全と農地の持つ多面的機能の活用											
5	農道・農地の整備、維持管理	農道の整備延長	-	480m (戸川、 柳川、 ほか新規 2地区) (合計)	R3:80m R4:100m R5:100m R6:100m R7:100m	実績	53m	105m	210m		
						区分	C	A	A	-	-
6	農地の利用集積の促進	農地利用集積面積	52ha (R元年)	64ha	R3:56ha R4:58ha R5:60ha R6:62ha R7:64ha	実績	53ha	56ha	59ha		
						区分	B	B	A	-	-
基本目標Ⅲ：安全な農産物の生産・消費による地産地消の推進											
7	地産地消の推進	地産地消サポーター協力 事業所数	47事業所 (R2年)	55事業所	R3:49事業所 R4:50事業所 R5:52事業所 R6:53事業所 R7:55事業所	実績	50事業所	50事業所	49事業所		
						区分	A	A	B	-	-
		学校給食の食材に占める 地場産物の使用率	37.2% (R元年)	50%	R5:40.0% R7:50.0% ※中間年 及び 最終年のみ 目標設定	実績	32.4%	32.7%	34.7%		
						区分			B		-
8	環境にやさしい農業の推進	優良農産物登録認証件数	7件 (R元年)	12件	R3:8件 R4:9件 R5:10件 R6:11件 R7:12件	実績	7件	5件	7件		
						区分	B	C	C	-	-
9	特産・振興農産物の 普及・拡大	落花生の作付面積 ※補助金申請面積	1,886a (R元年)	1,950a	R3:1,906a R4:1,918a R5:1,928a R6:1,939a R7:1,950a	実績	1,661a	1,606a	1,626a		
						区分	B	B	B	-	-
基本目標Ⅳ：農業に対する理解の促進と交流の活性化											
10	体験型農業の拡充	体験型農業参加区画数	344区画 (R元年)	375区画	R3:355区画 R4:360区画 R5:365区画 R6:370区画 R7:375区画	実績	118区画	323区画	500区画		
						区分	D	B	A	-	-
		はだの農業満喫CLUB会員 登録者数	250人 ※R2.10 時点 (R元年)	590人	R3:350人 R4:410人 R5:470人 R6:530人 R7:590人	実績	396人	692人	806人		
						区分	A	A	A	-	-
11	食農教育の推進	小学生・親子農業体験事業及 び学校等における食農教育の 実施回数	101回 (R元年)	503回 (合計)	R3:63回 R4:110回 R5:110回 R6:110回 R7:110回	実績	113回	143回	148回		
						区分	A	A	A	-	-

●図表 2-2 評価区分別の指標数

区分	指標数	割合
A（目標到達）	7	53.8%
B（概ね順調）	5	38.5%
C（やや遅れている）	1	7.7%
D（遅れている）	0	0%
未評価	0	0%
合計	13	100.0%

イ C評価（やや遅れている）について

「優良農産物登録認証件数」は、各生産団体との連携により新規登録件数の増加を図ったことにより新たに2件登録した。しかしながら、令和4年度に更新の負担やメリットの少なさを理由に減少した影響により、目標の達成には至らなかった。

今後は、生産団体へ更なる周知・連携を図るとともに、認証品のPRを積極的に行い、メリットの創出を図っていく。

(2) 各事業について【資料1-3】

ア 概況

全101事業の全てに取り組んでおり、「検討」が1事業であり、100事業が「継続」となり、計画どおり取り組むことができている。

イ 「検討」事業について

・「農業振興地域整備計画の見直し（基本目標Ⅱ-基本施策1-①農地の保全）」について、前回改定が令和4年1月末であり、今後も概ね5年ごとを目途に計画の見直しを検討する必要があるため、次回の改定に向けた基礎調査の実施時期等について検討するとともに、見直すべき候補地の抽出を実施した。

引き続き次回の改定に向け、検討をしていく。

5 中間評価の総括

本市の農業振興の状況を捉えるため、本計画の「重点施策・事業」に対して指標を設定し、その指標の実績と目標値を比較し評価することで把握することとしている。

そこで、令和5年度の「重点施策・事業」の各指標の実績を概ねの目標と比較して評価すると、全13指標について、7指標がA評価（目標到達）、5指標がB評価（概ね順調）、1指標がC評価（やや遅れている）であり、D評価（遅れている）はなかった。

C評価の指標については、生産団体へ更なる周知・連携を図るとともに、認証品のPRを積極的に行っている。

以上のことから、計画全体としては着実に推進が図られていると評価できるが、B評価、C評価の指標については、現状における課題を整理するとともに、最終的な目標の達成に向け計画的に進めていく必要がある。

なお、本計画においては、目標数値に対する達成状況のみで評価を実施しているが、計画を見直す際には、その他施策の取組状況等を踏まえてより適切な評価を実施できるよう検討をしていく。